竹橋交流会講演・第二弾　3月6日(月)18:00～ 毎日ホールにて

講演テーマ

「小泉内閣の損得勘定」

（株）毎日新聞社 論説委員長 菊池哲朗 氏

3月6日(月)18時から、パレスサイドビル毎日ホールにて行われた第9回コミュニティスクエア交流会第1部は、コミュニティスクエア会員企業40社63名と、(株)帆風、(株)E&E、(株)ジャパンアートから37名の参加で開催された。

講演会第2弾となる今回のテーマは、「小泉政権における損得勘定」。株式会社毎日新聞社の論説委員長である菊池哲朗氏がゲスト講演を行った。

長年、同社の経済記者として活躍し、現在では社説主幹として健筆をふるっている菊池氏。その鋭い視点に基づいた、現政権が抱える功績と問題点についての独自の見解を展開し、会場を湧かせていた。

時にはメモを取りながら…

親しみやすい語り口の菊池哲朗氏

鴨下事務局長の紹介で演壇に登った菊池氏は、まず、講演会前日にマスコミ各紙に大きく取り上げられた民主党への一連の報道内容を踏まえ、前原誠司代表と国対委員長に就任した渡部恒三氏について論評。その後、中国の経済成長における人口と年金受給割合、それに絡む失業問題、日中の相違を比較。さらに、サミット主要8カ国会議の内輪話を交えながら、大統領と首相というポストの差違に関して見解を述べつつ、本講演のメインテーマである小泉政権についての話に入る。

4月で丸5年となる小泉政権は、日本の歴代内閣と比較しても数少ない長期政権と言われているが、対して経済先進国といわれる各国首脳は、最大任期8年のアメリカを始め平均10年と長期的であるという。その、小泉首相の任期中の5年間で果たしてきた役割は、一体どういうものであったのか。

そうした観点から、国民の注目度も高い『財政改革』『派閥』『小選挙区制』『マニフェスト』『公務員制度改革』『6カ国協議』等、連日ニュース等で報道されてきた時事問題を、項目別にわかりやすく論説。そして、それにより世論がどう変化を遂げていったか、独自の切り口でプラス面、マイナス面を挙げた。

また、日米の実務ベースにおける関係に対しては、『自衛隊派遣』『BSE問題』を絡めて現状の解説を行った。

『景気対策』については、国の財政金融機関の不良債権処理解決の兆しの裏で、問題が顕在化してきた『少子化・高齢化』に関連し、今は国家的な目的の喪失感が大きいと述べ、「夢や希望を持たなければいけない」と、時には辛口に、そして、ユーモアを交えながら語る。

とかく難しく解説されがちな政治の世界だが、誰もがわかりやすい、ざっくばらんな語り口が魅力の菊池氏。

「紙面上では、なかなかここまで踏み込めない」というほど踏み込んだ話も―。時々会場の笑いも誘う盛りだくさんの講演となった。

コミュニティスクエア会員からは、「報道の最前線にいる方ならではの、普段は聞くことのできない貴重な話を聞くことができた」「独特の語り口が聞きやすく、面白かった」といった声が寄せられ、約1時間の講演は好評のうち、終了した。

仕事受けたり、頼んだり。

座談会後編

ご出席：三協タックラベル(株) 兵藤 芳郎 氏
(株)やまとカーボン社 白石 達也 氏
(株)あるす 横山 眞弥 氏

司会：鴨下 昇 事務局長

2月16日(木) コミュニティスクエア会議室にて

横：伝票と一口で言っても、伝票に付随したもの等色々ありますよね。この間、ナンバリングの話が出たんですが、4色機持っててナンバリングがあるなら通常印刷のナンバリングも可能になる。でも、そういう意識をどれだけの会社が持っているか。伝票なら意識がいくけど、伝票とナンバリングになるといかない。そこなんです。その会社さんの特性部分だけとった仕事だってあるわけで、それは、よく知らないとできない。

兵：そう、僕ならピンとくる、伝票あるならナンバリングあるだろうと…。でも、繋がらない人もいる、個々の営業マンの想像力なんですがね。そういう人達がどうやって情報を入れるかっていうと、喫煙とか酒飲んで話しているうちに「ああ、そうか」と…。コミュニティの営業案内に期待するのはそこなんです。

（株）あるす 横山氏

横：先日、ある会社さんにホログラムできる会社ないかって相談受けて、可能性がある3社を紹介したんだけど…。そういう具体例がないんですよ、今の青い冊子には。私達には設備は関係ない、何ができるかが重要ですね。

兵：ただ、内容を入れるのって難しいとは思いますけどね。

横：機械持ってる持ってないなんて極端な話、関係ない。そこから外注でいいんですもん。カレンダーって書いてあっても、一枚カレンダーの話なのか、バインダーじまであるのか、紙なのか何なのか。そっちなんですよね。

三協タックラベル(株) 兵藤氏

兵：大分理解してきたとはいえ、それでも全体のやっと半分程度じゃないかな。横山さんみたいな人は特殊な例で（笑）。

横：昨日、ここに入居しているある会社さんの特殊印刷の本ってのが見つかったんです。で、改めて見たら、ああ！こんなこともできるんだって再発見しましたね（笑）。

鴨：今後、最もポイントになるところは何ですか？ここを押さえたら活性化する、商売がもっと上手くいくっていうのは…。

兵：前段の話と通じるんですが、どういう風にここを捉えるか。各々営業のやり方があるので自分に合うかは問題ですが、ひとつの営業のツールとして考えたらすごい使い方できますよ。ただ、営業マンによってとにかく自社を回すんだって頭で動く人、上からそれだけを言われている人…、余裕ない人もいるかもしれないけど、そういう人達に、少し発想を変えてもらえたら…。ここ全体をツールとして捉えたら、他社が何やっているか、もっと知りたくなりますよ。

横：ある人が言ってました、本来ここで仕事を出したいんだと。でも、今までなら取ってきた仕事を会社に丸投げすれば工務や業務がやってくれたけど、ここは自分で全部やらなきゃいけない…。要するに、事務方がいないんです。例えば、原稿のデータをillustratorでもらって手配する時、全部確認しなきゃいけない。フォントが合っているのか、アウトラインがとれてるか、確認して校正かけて伝票切って発注して…。それを一人でやるのは面倒なんです。だったら本社にぽーんと送信して、「やって」って言って、納品で終わり。あるブースの担当者が徹夜してたんで、「何で徹夜したの？」って聞いたら伝票書くのに追われてたと。結局、自分たちがコピー1枚とる手間暇、これを圧縮できればもっと動けるのに…と。勿論ムリだとは思いますけど、今よりコミュニケーションがよくなって、お金が動くようになってきたら、ここの事務所の事務員として誰か来て、そしてその人がお節介なおばさんだったりすれば（笑）、その人を中心にしてどんどんコミュニケーションが広がるなと…。

（株）やまとカーボン社 白石氏

鴨下事務局長

兵：例えば、コピー1枚、伝票1枚にも自分がやってくれたけど、ここは自分で全部やらなきゃいけない…。要するに、事務方がいないんです。例えば、原稿のデータをillustratorでもらって手配する時、全部確認しなきゃいけない。フォントが合っているのか、アウトラインがとれてるか、確認して校正かけて伝票切って発注して…。それを一人でやるのは面倒なんです。だったら本社にぽーんと送信して、「やって」って言って、納品で終わり。あるブースの担当者が徹夜してたんで、「何で徹夜したの？」って聞いたら伝票書くのに追われてたと。結局、自分たちがコピー1枚とる手間暇、これを圧縮できればもっと動けるのに…と。勿論ムリだとは思いますけど、今よりコミュニケーションがよくなって、お金が動くようになってきたら、ここの事務所の事務員として誰か来て、そしてその人がお節介なおばさんだったりすれば（笑）、その人を中心にしてどんどんコミュニケーションが広がるなと…。

兵：例えば、コピー1枚、伝票1枚にも自分が関わる。こんな時給高い人間がやっていいのかなと、やりながら思ってますよ。

横：皆さん本音では思ってても、意外と言い出せないところなんです。先日、「面倒なんだ、ここでだすのは」って、ズバリ言う方もいました。あるすさんやってくれないかって言われて（笑）。構わないんですけどね。けど、その会社の業務がわかってないのにやるのは…。面付け指示出したって、データに送るにしろ、幅が何センチに設定されてるか確認しなきゃいけないとか。これはもう、それ専門の部署がないとやっていけない。

鴨：一人でやってく時の、ひとつの壁ですね。

横：ひどい時は、3本一斉に電話鳴りますもん（笑）。パニックになりますよ。

兵：外出してどうしても事務所に戻れない時、受付の田中さんや須釜さんに「申し訳ないけどウチのブースに入ってあそこの人にそれ渡して、FAXして」とか、時々お願いするんですよ。やってくれるんでありがたいんですけど、あくまで彼女たちの本来の仕事じゃないから…。それが通常業務として即座にやってくれる方が1～2人いれば、めちゃくちゃ便

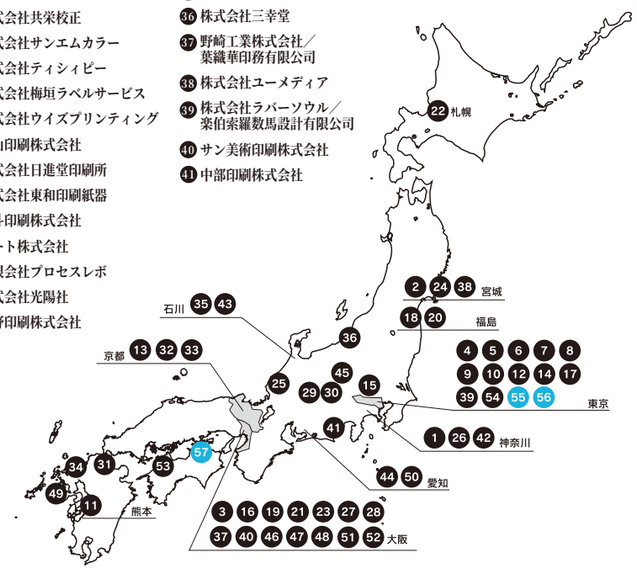
（2面へ続く）

「和」をもって、共存共栄を目指す情報紙。
Takebashi Community Press
竹橋コミュニティプレス
April 2006
9号

平成18年4月5日発行
発行人／犬養 俊輔
発行／株式会社 帆風
編集長／小原 紹一郎
編集／株式会社 帆風　小原デザインセンター
スタッフ／石原 有理・横田 みえこ・井口 健太郎・椎橋 信雄
画像補正／山田豊
CTP印刷／竹橋プリンティングセンター

1 株式会社日相印刷
2 三協タックラベル株式会社
3 旭紙工株式会社
4 双葉ネクストワークス株式会社
5 マコト印刷株式会社
6 グラパックジャパン株式会社
7 株式会社あるす
8 株式会社セイコー紙業
9 星野製本株式会社
10 株式会社東京パック
11 敷島印刷株式会社
12 株式会社共栄校正
13 株式会社サンエムカラー
14 株式会社ティシィピー
15 株式会社梅垣ラベルサービス
16 株式会社ウイズプリンティング
17 白山印刷株式会社
18 株式会社日進堂印刷所
19 株式会社東和印刷紙器
20 北斗印刷株式会社
21 ハート株式会社
22 有限会社プロセスレボ
23 株式会社光陽社
24 今野印刷株式会社
25 小川印刷株式会社
26 冨士印刷株式会社
27 大阪シーリング印刷株式会社
28 石本紙工株式会社
29 高山印刷株式会社
30 株式会社大包
31 二葉印刷株式会社
32 株式会社やまとカーボン社
33 株式会社図書印刷同朋舎
34 福博印刷株式会社
35 株式会社ウイルコーポレーション
36 株式会社三幸堂
37 野崎工業株式会社／葉織華印務有限公司
38 株式会社ユーメディア
39 株式会社ラバーソウル／楽伯索羅数馬設計有限公司
40 サン美術印刷株式会社
41 中部印刷株式会社
42 株式会社大和
43 宮下印刷株式会社
44 株式会社サクラ印刷／株式会社ジェイ・エス／株式会社ジャパンプランニングセンター／小鹿印刷株式会社
45 株式会社渋谷文泉閣
46 株式会社 林 歐文堂
47 株式会社古田デザイン事務所
48 新日本カレンダー株式会社 福州信日華印刷有限公司
49 株式会社昭和堂
50 大陽出版株式会社
51 大享印刷株式会社
52 株式会社イマイチ
53 佐川印刷株式会社
54 彩光印刷株式会社

竹橋コミュニティスクエアのメンバーご紹介



55 **株式会社イーアンドイー**
代表取締役　高辻慎博
総合印刷業（CTP、色校正、製本・加工、DTPデザイン、企画デザイン、Web制作、印刷、シルク捺染プリント、高級複製絵画、大型インクジェットプリント、スキャニング、画像管理、デジタル出力・編集、フィルムの改版修正・ストリップ修正）
〒100-0003東京都千代田区一ツ橋1-1-1
Tel 03-6212-0234

56 **株式会社ジャパンアート**
代表取締役　加藤和憲
印刷業（デザイン、組版＜写研・Mac＞、編集・集版、分解・スキャニング、出力＜DDCP・フィルム・デジコン・インクジェット＞、CTP、オンデマンド印刷、一般印刷、封筒、名刺）
〒101-0061東京都千代田区三崎町3-2-14 藤澤第1ビル5F・7F
Tel 03-5275-1755

57 **滝川印刷株式会社**
代表取締役　滝川晋二
印刷業（チラシ、カタログ、パンフレット、DM、企画・提案・デザイン、データ製作、CTP出力、印刷、製本、スキャニング、校正）
〒761-0701香川県木田郡三木町池戸3487
Tel 087-898-0211

（ナンバー、順序はお申込み順・敬称略／3月24日現在）

交流会・第2部

情報交換の輪がますます拡がりを見せ、会を重ねる毎に活気に湧く。

第2部懇親会は15分の休憩時間を挟み、19時15分から引き続いて同会場で開催された。

間仕切りを開放した広い会場内には、テーブルが整然と並べられ、これまで同様、サンドイッチやお寿司等の軽食や、アルコールなどが用意された。

冒頭、(株)光陽社の常務取締役である北口芳雄氏の「進化する竹橋コミュニティスクエアの今後の、ますますの発展を願って…」と、挨拶と乾杯の音頭で、3月の懇親会がスタートした。

いつものようにテーブルを囲んで、顔見知りに声を掛け合っている姿や、初顔合わせの挨拶を交わすなど、会話を楽しみながら、情報交換をする光景があちらこちらで見られた。

約1時間半の懇親会は、多くの人々で盛り上がりを見せ、最後に、三協タックラベル(株)の兵藤芳郎氏が締めの挨拶を行い、盛況裏に閉会した。

松井委員長にご挨拶を

第一部講演の終了後、(株)やまとカーボン社が参加する日中合弁会社「大連海和設計有限公司」が紹介され、現地担当者が挨拶を行った。

同社は日本語制作の環境を中国国内に構築し、メディアコンテンツ・デザイン制作や、各種組版などのDTPサービスを主体としており、日本国内の受注を請け負う。詳細については(株)やまとカーボンまで。

野崎工業株式会社　http://www.nozakinet.com/
本　社 TEL 072-879-0011　東京支店 TEL 03-3253-7766
オンデマンド／情報処理　ミックデータ・サービス
印刷のグローバル化の波に乗って
関連会社 有限会社 昭和ビジネス TEL 048-726-2479
有限会社 室町スピード印刷 TEL 075-343-3570
株式会社 アサップ プロセス TEL 03-3894-0521
合弁会社 浙江茉織華印務有限公司 TEL 03-3253-7759
China 北京 天津 中国 四川 上海 浙江 Osaka Tokyo
意外と近い中国と日本